

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください

|                     |    | チェック項目                                                                | はい | どちらとも<br>いいえない | いいえ | 未回答 | 現状の対応について、工夫している点                                                                    | 改善目標、改善案                                                                               |
|---------------------|----|-----------------------------------------------------------------------|----|----------------|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境<br>体制<br>整備      | 1  | 利用定員が指導訓練等のスペースとの関係で適切であるか                                            | 2  | 2              | 1   |     | 備品を移動させながら広く使っている                                                                    | 利用定員を超えないよう、事前予約や<br>時間制限を設けることでスペースを確保する                                              |
|                     | 2  | 職員の配置数は適切であるか                                                         | 4  | 1              |     |     | 職員一人あたりの業務負担が過重になっていないかを定期的に把握している                                                   | 職員が複数の業務を効率的にこなせるよう、研修やスキルアップの機会を提供する                                                  |
| 業務<br>改善            | 3  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか                         | 2  | 3              |     |     | 各職員が具体的な役割やタスクを持ち、PDCAの各ステップに主体的に関与できるようにしている                                        | 目標管理シートを作成し、職員が半期ごとに計画を立て、実行を促進する                                                      |
|                     | 4  | 職員の資質の向上を図るために、研修の機会を確保しているか                                          | 5  |                |     |     |                                                                                      |                                                                                        |
| 適切な<br>支援の<br>提供    | 5  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか           | 5  |                |     |     |                                                                                      |                                                                                        |
|                     | 6  | 子どもの適応行動の状況を図るために、アセスメントツールを使用しているか                                   | 3  | 2              |     |     | アセスメント結果を保護者に共有し、一緒に支援計画を検討する機会を設けている                                                | 信頼性の高いツール（例：Vineland適応行動評価尺度、S-M社会生活能力検査など）を導入し、試験的に運用することを検討する                        |
|                     | 7  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                                 | 5  |                |     |     | 毎月会議を行い子ども達の様子に合わせた活動を考えている                                                          |                                                                                        |
|                     | 8  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                               | 5  |                |     |     |                                                                                      |                                                                                        |
|                     | 9  | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                                   | 3  | 2              |     |     | 平日は学習支援や生活習慣（SST）を実施し、休日はお出かけレクを中心にリフレッシュ活動を実施している長期休暇は集中的な学習や生活スキル向上の特別プログラムを実施している | 各期間に適した支援内容をテンプレート化し、職員が負担なく対応できるようにする<br>長期休暇中には専門講師を招いたプログラムや外部施設の利用など、特別感のある活動を強化する |
|                     | 10 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか                      | 5  |                |     |     |                                                                                      |                                                                                        |
|                     | 11 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                       | 5  |                |     |     |                                                                                      |                                                                                        |
|                     | 12 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                 |    | 5              |     |     | 当日中に共有できなかった内容については、翌日に確実に引き継ぎを行い、情報の共有漏れを防ぐ仕組みを心掛けている                               | 送迎業務の影響で現在は行えていないが、その代わりに朝礼の時間を十分に確保し、情報共有や連携の強化を図る                                    |
|                     | 13 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか                                  | 4  | 1              |     |     | 全職員が使いやすい記録フォーマットを導入し、記録内容の一貫性を確保している                                                | 支援内容や結果を具体的に記載するよう、記録の精度を高める研修を実施する                                                    |
|                     | 14 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                            | 2  | 3              |     |     | 子どもの活動状況や成長、職員保護者からのフィードバックを統合的に分析している                                               | ・ 今後はモニタリングを計画的に実施する<br>・ モニタリング結果を効果的に活用するスキルを向上させるための研修を実施する                         |
|                     | 15 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか                                       | 3  | 2              |     |     | 学習支援と運動遊びで集中力と体力を育み、グループ活動と個別支援で社会性と個性をバランスよく支援している                                  | 職員が効果的な活動の組み合わせを考えられるよう、ガイドラインの理解を深める研修を実施する                                           |
| 関係<br>機関<br>や<br>保護 | 16 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                    | 3  | 2              |     |     | 子どもの日常支援を最も多く担当する職員や、その子の特性に詳しい職員を会議に参加させている                                         | ・ 参加者の職務や役割を明記した記録を作成し、透明性を確保する<br>・ 会議以外でも担当者間で意見交換ができる仕組みを構築し、議論の質を向上させる             |
|                     | 17 | 学校との情報共有（年間計画行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 2  | 3              |     |     | 学校との情報共有や連絡調整については、保護者を介して適切に行っている                                                   | 月次で学校からおたよりを受け取る仕組みを正式化し、保護者任せにならないよう調整する                                              |
|                     | 18 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                         | 2  | 2              | 1   |     | 研修を定期的に開催し、最新の支援技術や知識を学ぶ機会を提供している                                                    | 職員が専門的な支援技術を身につけ、日常業務で即座に活用できる体制を目指す                                                   |

|            |    |                                                                                 |   |   |   |                                                          |                                                    |
|------------|----|---------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 者との連携      | 19 | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか                                                       | 2 | 2 | 1 | 他事業所や行政との意見交換を通じて、実践的な知見や支援方法を学んでいる                      | 地域課題に対して、事業所としての具体的な支援策や取り組みを提案する                  |
|            | 20 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                                 | 3 | 2 |   | 連絡帳、HUGで活動内容を共有し、送迎時の会話では保護者と日々の状況を伝え合い、双方向の連携を図っている     | 保護者からの意見を基に、伝達内容や方法を見直し、さらに効果的な情報共有を目指す            |
|            | 21 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか                                 | 1 | 1 | 3 | 課題のある保護者には助言等をしているが、全体的には行っていない                          | 臨床心理士や発達支援の専門家を招き、専門的な知識やアドバイスを共有する                |
| 保護者への説明責任等 | 22 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                               | 5 |   |   |                                                          |                                                    |
|            | 23 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                                       | 4 | 1 |   | 子どもの状況や家庭での悩みを共有するため、保護者との定期面談を実施している                    | 保護者対応のスキルを向上させるための研修を実施する                          |
|            | 24 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                                   |   |   | 5 | 親子で参加できる行事やワークショップを企画し、保護者同士が自然に交流できる場を提供する              | 保護者会を年1回開催し、交流や情報共有の場を提供意見を反映し支援体制を強化する            |
|            | 25 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             | 4 | 1 |   | 苦情があった場合、速やかに事実確認を行い、対応策を検討している                          | 職員が冷静かつ丁寧に対応できるコミュニケーション力を育成する                     |
|            | 26 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | 3 | 2 |   | 活動報告や子どもたちの成果を写真やコメント付きで掲載し、親しみやすい内容にしている                | 保護者や子どもが見やすく、理解しやすい会報を作成するスキルを身につけられるよう研修やソフトを強化する |
|            | 27 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか                                                              | 4 | 1 |   | 個人情報の取り扱いに関する明確なルールを策定し、全職員に周知徹底している                     | 定期的に個人情報管理の運用状況を点検し、改善点を洗い出す                       |
|            | 28 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                            | 5 |   |   |                                                          |                                                    |
| 非常時等の対応    | 29 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか                                            | 2 | 2 | 1 | 教育委員会や学校と連携し、地域に講演会の招待や周知をしている                           | 地域の特技を持つ住民に講師として参加してもらうなど、行事内容に住民が関わる仕組みを導入する      |
|            | 30 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか                               | 4 | 1 |   | 具体例を用いて、理解しやすいマニュアルを作成している                               | 社会状況や新たなリスクに応じてマニュアルを定期的に見直し、最新の情報を反映する            |
|            | 31 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか                                             | 5 |   |   |                                                          |                                                    |
|            | 32 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか                                             | 5 |   |   |                                                          |                                                    |
|            | 33 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 2 |   | ・研修サイトを活用し、職員が取り組める環境を提供している<br>・虐待防止委員会を設置し、定期的に活動を実施する | 身体拘束に関する方針を明確化し、研修やマニュアルで理解を深める職員の意見交換を促進する        |
|            | 34 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか                                                      | 1 | 2 | 2 | 定期的にカンファレンスを実施している事例を振り返り、解決策を議論できるようにする                 | ヒヤリハットの事例については今後は、取り組む必要がある                        |